

世界の言語から見た日本語

金5 中川裕先生

キーワード: 言語類型論 文法 日本語

☒ ←実際に利用した資料にはチェックをしましょう。

Web 授業のテーマに関連したデータベースやサイトです。

☐ The World Atlas of Language Structures Online

【<http://wals.info/>】

→ 言語類型論の方法論を使って、世界の諸言語を100を超える特徴ごとに分類しています。世界の言語の構造特性と分布を表す、地図をながめているだけでも大変に面白い、言語研究者必見のWebサイトです。

☐ Japan Knowledge ジャパンナレッジ【学内限定】

→ キーワードを使って検索すると「日本大百科全書」などの辞典の該当項目が読めます。

図書 本には、テーマに関連する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

言語類型論に関する図書は、分類番号「801.5」、日本語の文法に関する図書は「815」の書棚にありますので、直接その場所に行って、どのような本があるのか手にとってみましょう。

★のついている図書は、授業期間中(4月～8月)は本館1階 授業資料ナビコーナーにあります。

☐ 『日本語に主語はいらない：百年の誤謬を正す』金谷武洋 講談社 2002

→ 日本語に主語という概念はいらないというのは古くからある議論ですが、そこで何が問題になってきたのかをわかりやすく解説した本。いろいろ批判はありますが、読んでおいて損はありません。

★【本館閲覧室4階 815/NIH】

☐ 『世界諸言語の地理的・系統的語順分布とその変遷』山本秀樹 溪水社 2003

→ 語順というのは言語によってまったくばらばらなのかというと、実はそうではなく、よくある順番とめったにない順番にきっぱり分かります。そしてそれが世界中の言語をタイプ別に分類し、その背景にある言語の普遍性を探るという言語類型論の出发点となりました。本書は3000におよぶ言語の語順を分析し、その成果を一望できるようにしたものです。

★【本館閲覧室4階 801.5/SEK】

☐ 『世界言語への視座：歴史言語学と言語類型論』松本克己 三省堂 2006

→ 歴史言語学と言語類型論の成果を駆使して、世界中の言語の歴史的な関係を探ろうとした壮大な企て。日本語が周辺の言語とどのような特徴を共有しているか、また共有していないかが一覧できます。言語学者の知的底力というものをまざまざと感じる本。

★【本館閲覧室4階 804/SEK】

☐ 『言語類型論入門：言語の普遍性と多様性』リンゼイ J. ウェイリー；大堀壽夫, 古賀裕章, 山泉実訳 岩波書店 2006

→ 言語類型論についての、今一番わかりやすい概説書。原書で読んでもいいですが、日本語訳が出ているのでこちらを勧めておきます。

★【本館閲覧室4階 801.5/GEN】

☐ 『世界の言語と日本語：言語類型論から見た日本語』(改訂版) 角田太作 くろしお出版 2009

→ 日本語は特殊な言語なのか？ ということをキーワードに、いろいろな文法的要素について論じながら、世界の言語との比較による日本語の特徴を明らかにし、さらに、英語がいかに特殊な、変わった言語かということを論じています。日本語教師になろうというような人にとって必読の本であり、言語類型論の入門書としても最適です。

★【本館閲覧室4階 815/SEK】

参考図書(辞書・事典等) 初めてのテーマは、百科事典や主題別の事典などでおおよその内容をつかみましょう。

「本館参考」にあるものは図書館内で利用して下さい。

□『世界言語文化図鑑：世界の言語の起源と伝播』バーナード・コムリーほか編 東洋書林 2005

【本館閲覧室 802/SEK】

My Book List & Keywords

自分で見つけた図書や、実際に使った検索キーワードなどをメモしましょう。

授業資料ナビゲータ(PathFinder)入口 (<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/>)

本や論文を探す方法(<http://www.ll.chiba-u.ac.jp/pathfinder/pfsearch.html>)

作成:千葉大学附属図書館 2011.4.1